特 許 協 力 条 約

PCT

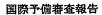
国際予備審査報告

REC'D 15 APR 2004

電話番号 03-3581-1101 内線 3452

(法第12条、法施行規則第56条)

[PC136条及びPC1規則70]					
出願人又は代理人 の書類記号 A31384A	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/07478	国際出願日 (日.月.年) 12	. 06. 2003	優先日 (日.月.年) 12.	06.2002	
	国際特許分類 (IPC) Int.Cl ⁷ A61K31/765, 31/22, 31/365, A61P17/14, 39/02, C07D323/00, C08G63/78, 63/08, C07C67/00, 69/68, C08L67/04				
出願人(氏名又は名称) 天藤製薬株式会社					
			-		
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を	生施行規則第57条(P (CT36条)の規定に	従い 送 付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙	紙を含めて全部で _	4 ~~	ジからなる。		
この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で ページである。					
3. この国際予備審査報告は、次の内容	容を含む。			,	
I X 国際予備審査報告の基礎	<u> </u>				
II					
Ⅲ					
IV					
V 区 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明					
VI X ある種の引用文献					
Ⅵ					
WIII					
国際予備審査の請求書を受理した日 12.06.2003		国際予備審査報告を作 22.	作成した日 03.2004 		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915		特許庁審査官(権限の	のある職員)	4C 9284	
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号					



国際出願番号 PCT/JP03/07478

Ι.	Ξ	国際予備審查報	告の基礎			
1.	1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)					
	X	出願時の国際	张 魯爾出祭	į		
		明細審 明細審 明細審	第 第 第		ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
		請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 		項、 項、 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求審と共に提出されたもの
		請求の範囲	第		項、	付の書簡と共に提出されたもの
		図面 図面 図面	第 第 第		ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
		明細書の配列 明細書の配列 明細書の配列	引表の部分)第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
2.	_	上記の出願書類	質の言語に	は、下記に示す場合	合を除くほか、こ	の国際出願の言語である。
	_	上記の書類は、	下記の言	言語である	語であ	o 8 .
	□ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 □ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 □ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語					
3.	;	この国際出願に	は、ヌクロ	· ノオチド又はアミ <i>.</i>	ノ酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
	□ この国際出願に含まれる書面による配列表					
	□ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表					
	□ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された審面による配列表					
□ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述						
書の提出があった						
		<u></u> 」 審面によ があった		に記載した配列と	: 磁気ディスクに	よる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出
4.	·			質が削除された。	ページ	
1		請求の範囲	第		 項	
		図面	図面の	第	ペ-	-ジ/図
5	. 🗆	れるので、	その補正	がされなかったも	のとして作成した	Eが出願時における開示の範囲を越えてされたものと認めら t。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上 B告に添付する。)



国際出願番号 PCT/JP03/07478

V.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	8性についての法第12条 	(PCT35条(2)) 	に定める見解、 	それを裏付ける
1.	見解				
	新規性(N)	請求の範囲	5-8, 10		有
		請求の範囲 _	1-4, 9		無
	進歩性(IS)	請求の範囲			有
		請求の範囲	1-10		無
	産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲			有
	Ampleta - Pright and the Caracy	請求の範囲	1-10		無
	·	_			
l .					

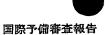
2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: JP 2000-239171 A (東海教育産業株式会社) 2000.09.05

文献 2: WO 01/21612 A1(天藤製薬株式会社)2001.03.29 文献 3: WO 01/21182 A1 (天藤製薬株式会社) 2001.03.29

請求の範囲1-4,9は、縮合度3~20の環状及び/又は鎖状のポリ乳酸混合物を含む抗癌剤副作用抑制剤、脱毛抑制剤に関するものであり、文献1の【要約】、【特許請求の範囲】、【0002】-【0004】には、縮合度3~20の環状及び/又は鎖状のポリ乳酸混合物を含むQOL改善剤、該QOL改善が抗癌剤の副作用により脱毛の改善を包含することが、記載されていることから、請求の範囲1-3,9は、文献1に記載されており、新規提出を表現といる。

請求の範囲5-8,10は、上記ポリ乳酸混合物が、特定の製造方法により製造されたものに関するもの、上記薬剤を含む飲食品に関するものであり、文献1に記載はない。しかし、文献2のAbstract,請求の範囲、文献3のAbstract,請求の範囲,第11~ジ第24行-第15~ジ第12行には、上記特定の製造方法により製造された縮合度3~20の環状及び/又は鎖状のポリ乳酸混合物が記載されていることから、文献1記載の縮合度3~20の環状及び/又は鎖状のポリ乳酸混合物を含む薬剤において、ポリ乳酸混合物として、文献1記載のものに代えて、文献2,3記載のものを採用することは、当業者が容易に想到し得ることであるし、薬剤を飲食品に含ませることも、医薬の分野において通常行われることである。よって、請求の範囲5-8,10は進歩性を有しない。





国際出願番号 PCT/JP03/07478

VI.	ある種の引用文献				
1.	ある種の公表された文 杏(PCT規則70.10)				
	出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)	
	WO 02/074835 A1 [EY]	26.09.02	18.03.02	19.03.01	
	WO 03/007937 A1 [EY]	30.01.03	17.07.02	18.07.01	

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付	書面による開示以外の開示に言及している
	(日.月.年)	書面の日付(日.月.年)